

31 番（森田卓司議員） おはようございます。新風会の森田卓司でございます。

それでは、通告に従いまして質問に入らせていただきます。

都市整備局長、私は都市整備局長に質問をいたしませんので、御安心ください。（笑声）きのうからお聞きしておりますと、きのうは6人全員、きょうも楠木議員、そして個人質問初日も多くの議員に都市整備局長、まあいじめられているわけじゃないと思います。また、人気があるのかどうかわかりませんが、非常にお疲れさまでございます。水でも置いてあげればいいのになと、ふと先ほど思ったところでございます。（笑声）

それでは、市民活動保険制度について質問させていただきます。

御存じの方もおられるとは思いますが、この市民活動保険は、自治体が保険料を負担し運営するもので、ボランティア活動などの市民活動中に事故に遭われた場合、補償金が給付されるというものです。本市では導入されていませんが、平成23年度指定都市地域振興主管者連絡会議資料によりますと、政令市では大阪市、名古屋市を初め静岡市、相模原市等、12政令市がこの制度を導入しております。今回は、広島市での市民活動保険を紹介させていただきます。

広島市では、平成16年度からこの制度を導入されています。その経緯は、市民活動の活性化のために市民が安心して活動できるための環境を整備し、市民活動支援を強化する必要があること、ボランティアの参加を伴う個別の事業ごとに保険を掛けるのではなく、市全体でまとめて保険を掛けることで経費節減、効率化を図ることができること、そして既存のボランティア保険で対応できない活動、例えば5人未満、社会福祉以外の分野で行事以外の活動を補完することを目的として、市民活動保険制度を導入されております。政令市以外でもこの制度を導入されていますが、財源はすべて各自治体が予算を組み、保険会社と契約をしている状況でございます。

この保険制度の大きな利点は、保険料の自己負担、そして事前の登録が不要なことでございます。幾つかの自治体に運営、議会の反応をお尋ねいたしましたが、どの自治体でもこの制度を廃止することは検討していない。また議会からは、もっと市民の方々に広く広報をすべきだとの意見があるとのことでございました。

私は、昨年の平成22年度決算委員会におきまして、例えば「市民のひろば おかやま」等配布のほか、町内活動中の事故に対して補償がないことを指摘させていただきました。他都市が導入しているから岡山市も導入するべきであるとの議論はいたしません、活発な市民活動で政令市岡山を活力のある都市にするためには、このような制度の導入が必要であると考えますが、御所見をお示しください。

次に、岡山市スポーツ推進計画よりお尋ねをいたします。

岡山県では、岡山県スポーツ推進条例（案）が現在開会中の6月岡山県議会定例会へ議案として上程されております。岡山市では、本年4月に岡山市スポーツ推進計画が示されています。その中で、平成17年に開催された第60回岡山国体、第5回全国障害者スポーツ大会を契機にスポーツに対する意識が高まっており、市民の熱い思いを維持し、さらに

高めていくためにもスポーツの推進を目的とした計画の策定が必要であると示されています。平成17年といたしますと、建部地域はまだ岡山市と合併をする前でありました。岡山市で行われた国体競技全般について、私の知識不足もあり、ここでは建部町で開催されたカヌー競技の現状と今後についてお尋ねいたします。

ちょっと話をかえますが、先ほど楠木議員が台風4号接近中というお話をされておりましたが、けさ私も家を出て旭川ダムに行ってみましたが、8時半前でしたが、そのときに、旭川ダムは放流をしておりました。毎秒84トンぐらいの放流だそうでございます。まだまだ満杯にはなっていて、大丈夫なようですが、これから雨が降り続くと、また危険な状態に陥るのではないかと心配して行ってまいりました。今のところ大丈夫なようでございましたので、御報告をさせていただきます。

この旭川ダムを使って岡山国体でのカヌー競技は開催されたところでございます。岡山国体でのカヌー競技は、建部町及び瀬戸町で開催されましたが、特に建部町在住の選手の活躍により、天皇杯、皇后杯の受賞に大きく貢献をいたしました。建部町では、昭和50年代半ばに海洋性レクリエーションの活動や健康づくりの拠点として海洋センターが設置され、これまで青少年の健全育成や自然を生かした海洋性スポーツの普及が図られてまいりました。また、国体開催前から選手の育成や競技力の向上を目指した取り組みが行われ、その結果、先ほど述べましたとおり、岡山国体ではすばらしい活躍がなされたところでございます。

岡山国体終了後、また岡山市との合併後においても、岡山県カヌー協会の支援もあり、平成15年度から毎年開催していた全国ジュニアカヌースラローム岡山大会、平成22年度からは成年の種目であるカヌーワイルドウォータージャパンカップ、昨年度からはカヌースラロームジャパンカップが同時に開催されるなど全国大会が定着し、全国各地からトップレベルの選手が建部に集まり、熱戦が繰り広げられるようになりました。地元選手を育成してきた建部中学校カヌー部では、国体終了後も継続した競技力の向上が図られ、建部中学校卒業生の多くの選手が高校総体や国体で活躍をしてきたところであります。本年度も、建部中学校出身で岡山御津高等学校在住の江見選手、山谷選手が高校総体への出場が決定しているほか、岐阜国体にも山根選手、延江選手、依田選手の出場が既に決定をしております。

また、海洋センターでは、同センターから後樂園までの約40キロメートルの旭川をカヌーに乗って下る恒例の川下りが本年度も開催されたほか、主に小学生を対象としたカヌーやローボートなどの海洋性スポーツ活動も毎年行われるなど、気軽に楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動を展開しております。

岡山市スポーツ推進計画では、ライフステージに応じたスポーツ、トップスポーツの推進、スポーツ施設の整備・充実が基本方針として示されております。

そこでお尋ねいたします。

1、建部で開催されているカヌー競技の全国大会に対してはどのようにとらえられてい

るのか、御所見をお聞かせください。

2, 岡山市スポーツ推進計画の中で、施策の方向性では全国大会等の開催支援の充実と、具体的施策としては大会開催負担金の充実が示されていますが、カヌー競技に対する大会負担金の充実についての御所見をお聞かせください。

3, 具体的施策に大会・イベント情報を積極的に広報し、地域スポーツの振興、地域の交流を図るとありますが、特に力を入れる施策があればお示してください。

次に、おかやま国際音楽祭についてお尋ねいたします。

市議会でのいろいろな議論が行われましたおかやま国際音楽祭も今年度が6回目の開催となり、月日のたつのは早いものだなと感じているところでございます。毎年いろいろなアイデアで新しい企画等が実施され、充実されていると思っております。今年度も、政令市岡山にふさわしいにぎわいのある音楽フェスティバルを目指し、野外コンサートの充実や海外の演奏家によるホールコンサートなどの実施を図りながら、多彩なジャンルで市民、観光客、だれもが楽しめる音楽祭として全国へ発信していきますと本年度のおかやま国際音楽祭 2012 に開催趣旨が示されています。

そこでお尋ねいたします。

1, 毎年、実行委員会等で企画及び反省が行われていると思いますが、主にどのような意見があり、それをどのように次年度に反映をされているのか、お示してください。

2, ジャンルは多彩でも、開催場所が中心市街地に限られているように感じますが、他の地域でも開催できる施設はあると思いますが、いかがでしょうか。

最後の項、新・健康市民おかやま 21（仮称）の策定についてお伺いをいたします。

岡山市のホームページによりますと、健康市民おかやま 21 の計画策定の背景は、近年日本では高齢化が進み、介護を必要とする人や生活習慣病になる人がふえている。岡山市でも高齢化が進んだり市民の生活スタイルが変化するのに伴い、生活習慣病が死亡原因の上位を占めるようになりました。また、生活習慣病の治療や介護を必要とする人も増加してきました。このため生活習慣の改善を目指して、健康市民おかやま 21 を市民の方とともに策定されています。これをもとに、地域、家族、職域、行政などが力を合わせて市民一人一人の主体的な健康づくりを支援していきます。また、計画の目的は、みずからの健康をみずからでつくる喜びを実感でき、健康を自覚できる人の増加とともに、働き盛りの中核世代の健康増進、元気な高齢者の増加、介護を必要とする人の増加抑制などを図り、すべての市民の方が健康で自分らしく生きられる岡山市を目指すとあります。そして、健康増進法に基づき市民の健康づくりを目的に平成 25 年から 10 年間の指針として、新・健康市民おかやま 21（仮称）の実施計画を策定する作業が現在進められております。市民の健康と健康な地域の実現を図るための計画の策定であると認識をしています。

そこでお尋ねいたします。

1, 今年度までの事業であった健康市民おかやま 21 の最終評価が終了していれば、総体的にはどのような評価をされているのかお示してください。

2, 今年度当初予算に 700 万円余の予算が計上されています。現在, この事業の実施計画の策定の進捗状況をお示してください。また, 新・健康市民おかやま 21 (仮称) の策定に当たって平成 25 年度以降に事業を推進するために具体的に取る計画, 推進体制があればお示してください。

3, 若い方々が積極的にかかわることのできる, また配慮した計画を考えるべきだと考えるが, いかがでしょうか。

以上で 1 回目の質問を終わらせていただきます。

御清聴ありがとうございました。(拍手)

◎坂元秀徳安全・安心ネットワーク担当局長 市民活動保険制度についての項で, 活発な市民活動で政令市岡山を活力のある都市にするためには, 市民活動保険制度の導入が必要であると考えがとのお尋ねにお答えいたします。

議員御指摘のとおり, 補償内容や保険料等に違いはあるものの, 現在では広島市を初め半数以上の政令指定都市で市民のボランティア活動中の事故等を対象とした保険制度, または類似の制度が導入されております。これらの制度の特徴は, それぞれ違いはあるものの, 全市民を対象に市が保険を掛けるもので, 大きく分けてボランティア活動中の負傷等に対応する傷害保険及び第三者に与えた損害等に対応するための賠償保険で構成されております。

一方, 岡山市においては, 現在各局各課において事業ごとに事業参加者等を対象とした保険に加入しているところでありますが, 今後市民のボランティア活動への参加を一層促進し, 市民との協働による豊かで活力のある地域づくりを進めていく観点から, 岡山市においてはどのような制度がふさわしいのか, その効果や財政負担等もあわせて研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

◎田淵薫市民局長 岡山市スポーツ推進計画の御質問に順次お答えさせていただきます。

まず, 建部で開催しておりますカヌー競技の全国大会についてでございますが, 全国のトップクラスの選手が一堂に会することにより, 地元選手の競技力の向上が図られるとともに, 岡山を全国に情報発信できる大会であります。旭川の清流を会場とする本大会は, 地域の特色あるわがまちスポーツとして定着しており, 今後も継続して開催いただきたい大会と考えております。

また, 大会負担金につきましては, このたびのスポーツ推進計画の中でもその充実をうたっておりますが, 現在ジュニアカヌースラローム大会等の開催負担金として 100 万円を補助しているところであり, 他の大会とのバランスや財政状況等も考慮に入れながら今後とも検討してまいりたいと考えております。

また, 本市における地域スポーツといたしましては, 先ほど話題になりました建部のカ

又一競技，それから瀬戸町のホッケー競技など，岡山国体を契機にわがまちスポーツとして定着しているものや，それぞれの地域で長年にわたり開催されている大会もございます。それぞれの地域の特色を生かしたスポーツやレクリエーションが根つき，多くの参加者による交流が生まれることは地域の活性化につながることも期待でき，今後も地域イベント情報の広報など，地域の特色あるスポーツの定着に向けて環境づくりの支援に努めてまいりたいと考えております。

次に，おかやま国際音楽祭についての御質問にお答えします。

おかやま国際音楽祭については，毎年終了後一，二カ月以内に実行委員会を開催し，反省点も含めた評価を行い，次年度に向けた改善策を含めた事業計画が話し合われるといったスキームで現在進めております。これまで，下石井公園のイベントが市民に開かれた音楽空間として好評である，また駅前を中心とした街角コンサートは音楽でまちににぎわいを創出する効果が高いといった意見が出され，下石井3DAYSについては外国人市民の参加や出演者の充実を，駅前を初めとした中心市街地での街角コンサートについては開催場所，回数をふやしていくなどの拡充を図ってまいりました。

ことしのおかやま国際音楽祭2012の企画に当たっては，これまでの評価に加え，昨年メイン期間に有料コンサートが集中し過ぎたことや音楽祭全体のPRが不十分との反省に基づき，有料コンサートの集約化や全体コマーシャル制作によるPR強化などを予定しているところでございます。なお，開催場所につきましては，中心市街地だけに集中しているとの御意見もありますし，周辺地域にはすぐれた中規模ホールもあることから，提携事業や企画提案事業を中心にどういった展開ができるかについて今後検討してみたいと考えております。

以上でございます。

◎岸堅士保健福祉局長　健康市民おかやま21についてのお尋ねにお答えします。

健康市民おかやま21の最終評価については，重点目標の達成度，生活習慣病予防に必要な6分野の成果，地域での推進体制の整備といった観点から，市民の健康を取り巻く現状や課題等を総合的に評価するよう各地域推進会議や活動評価部会を中心に作業を行っています。

同時に，新計画の策定については，その活動評価を踏まえながら各種団体から推薦された方々から成るワーキング会議において，基本的な方向性についての話し合いを進めているところです。今後は，専門家会議等での検討を経て，健康市民おかやま21推進会議において素案を作成し，岡山市保健福祉政策審議会などにも諮りながら，今年度末までに策定する予定としております。なお，計画の策定，推進に当たっては，現在ある体制を基本にしながら，学生やおやこクラブの母親など若い世代にも参加いただき，ライフステージに応じた健康づくりを目指し，各世代の方々により身近な活動となるよう努めてまいりたいと考えております。

以上です。

[31 番 **森田卓司** 議員登壇, 拍手]

◆31 番 (**森田卓司** 議員) 御答弁ありがとうございました。

それでは、再質問を数点させていただきます。

まず、市民活動保険制度でございますが、広島市の例を挙げて紹介させていただきました。事故がないことが一番なんですけれど、この保険制度を利用された方の事例を平成 22 年度から見ますと、町内会の団体で夏祭りの準備中、熱中症になったということで傷害保険が適用されております。また、同じ町内会の方が夏祭りの片づけ中にトラックの荷台から荷物をおろして転倒し、骨折した。これも同じように傷害保険が出ております。それから、市民活動団体の方が下草刈り作業中にスズメバチに刺されたということで、これも傷害保険が出ております。それから、社会福祉に関する活動で、市民活動団体の方がイベントで着ぐるみを着てキャンペーン中、参加者の子どもに足をつかまれて転倒し、着ぐるみを汚したということで、これは賠償保険が支払われております。それから、団地の自治会では、清掃活動中に草刈り機で太ももに裂傷を負ったということ等、またスポーツ同好会ではスポーツ大会の運営中に子どもの素振りが歯に当たり、前歯が折れたということで傷害保険等々が支払われております。

こういうふうないろんな保険を掛けていて、今担当局長からこれを研究していかなければならないということでもございました。全部を精査するのに時間がかかるとは思いますが、できるだけスピード感を持ってやっていただきたいと思っております。その前にまず研究をして、やるかどうかということ、市長のほうからもし御所見があればお聞かせいただければと思います。担当局長は研究をするということでしたが、もし市長の御所見があれば言ってください。担当局長、市長のほうからなければ結構でございます。

それから、カヌー競技でございます。

カヌー競技というか、地域スポーツになります。私も今回のカヌー競技を観戦に行かせていただきました。そのときに言われたこと、それからその後と言われたことは、もっと広報をせんといけんわということでございました。やはりカヌー競技自体を見に行かれる方が非常に少ない中で、広報も少ないということで、行ってる人というのは、カヌーのボランティアの方、そして選手の方はもちろんですが、関係者の方というふうな形で、全国大会にもかかわらず参加されている人が関係者の方だけになっているような状況で、市民の方から、森田君、もっと広報をせんといけんでというような意見もいただいたところでございます。

このカヌー競技に限らず、スポーツ、音楽祭にしても、局長がさっきPR活動が重要であるということをおっしゃってました。スポーツイベントに限らず、広報活動が非常に重要であると思っております。御所見があれば、市民局長よろしくお願いたします。

それから、おかやま国際音楽祭については、実行委員会でこれからもいろんな議論がな

されて、すばらしいものになるであろうと確信しておるところでございます。

あと、健康市民おかやま 21 でございます。

私は、この 10 日間の間に同級生を 1 人亡くして、また小さいころからずうっと遊んでおった私より 1 歳年下の方が亡くなりました。そういうことを考えると、やっぱり若いときからたばこも吸わずに大酒も飲まずにというのが一番いいんだろうなと思っております。私自身もそのように考えていますが、この健康に対しては生活習慣病というようなことは今までずっと言われておりますが、身近な人がそういうふうな形で若いときに亡くなると非常にさみしいものがあります。そういう意味で、この計画を策定するだけではなく、実際に活用ができる計画にしなければならないと思っております。先ほど言いましたように、今年度予算が計上されておりますが、事業費の内訳をお聞かせください。時間ルールがありまして、後出てこれませんので言いますが、多分印刷代が多いんじゃないかと思うんですけど、事業費の内訳があればお聞かせください。

以上で私の再質問を終わります。

ありがとうございました。(拍手)

◎田淵薫市民局長 カヌー競技、全国大会等のスポーツ大会あるいは音楽祭の PR についてでございますが、スポーツの全国大会の PR ということで申しますと、やはり岡山で開催させていただく大会はしっかり PR して、せっかくの機会ですから多くの市民の方にも見ていただければというふうに考えております。

そういう中で、カヌー競技で言いますと、例えばことし初めて後樂園のところで開催いたしましたカヌーの駅伝競走。カヌー競技というものに駅伝という要素をプラスし、なおかつ春の桜の季節の後樂園周辺の都心部でできるという岡山を PR していただける大会であったと思います。また、先ほどのカヌーの建部の大会、岡山を代表する清流旭川の岡山のちょうどへそに当たる福渡の地域で行うということで、PR はもちろんでございますが、今後大会関係者と協議しながら大会だけの楽しみプラス建部という地域の自然環境なんかも紹介できるような PR を加味できたらなというふうに今考えているところでございます。

いずれにいたしましても、究極の PR 方法、音楽祭にいたしましても全国大会のスポーツ大会にいたしましても、これでいいというものがなかなか確定できません。それぞれの主催団体等とも協議しながら、ただ大会だけでなく岡山を紹介できるような方法を今後も検討していきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

◎坂元秀徳安全・安心ネットワーク担当局長 市民活動保険制度の導入を研究して、やるかどうかについてももう一度考えをとのお尋ねにお答えさせていただきます。

議員御紹介の広島市の実績を見ますと、平成 22 年度で 19 件の事故等に対しまして 141 万 6,000 円の保険金等が支給されているとお聞きしておりますが、そうした制度が岡山市

においてどのように機能するか、十分か不十分か、そういうことを含めてスピード感を持って研究したいというふうに考えております。

以上でございます。

◎岸堅士保健福祉局長　健康市民おかやま 21 の新しい計画策定の平成 24 年度予算 700 万円余の内訳ということでございますが、主な内訳としては今後の作成になりますが、実施計画 2,000 冊、啓発用のパンフレット 2 万冊、それからポスター 1,500 枚の作成を予定しております。その経費として 590 万円、そのほか記念フォーラムの開催費用などとなっております。

以上です。